



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トクヤマ

コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 幸後 和壽

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 松本 良文

TEL 03-6205-4832

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	189,058	△10.4	2,757	△74.0	△109	—	△10,842	—
24年3月期第3四半期	211,017	△1.6	10,603	△25.3	7,845	△23.7	3,898	△26.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △8,376百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 2,509百万円 (△24.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△31.16	—
24年3月期第3四半期	11.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	525,871	245,801	45.6	688.63
24年3月期	501,181	255,460	49.7	716.39

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 239,596百万円 24年3月期 249,262百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	258,500	△8.5	4,000	△70.8	0	△100.0	△11,500	—	△33.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月5日に「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	349,671,876 株	24年3月期	349,671,876 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,739,165 株	24年3月期	1,729,017 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	347,939,642 株	24年3月期3Q	347,950,664 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
(4) 配当の予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常損益	四半期純損益
平成25年3月期 第3四半期連結累計期間	1,890	27	△1	△108
平成24年3月期 第3四半期連結累計期間	2,110	106	78	38
増減率	△10.4%	△74.0%	—	—

**(売上高)**

セメントは国内販売数量の増加等により増収となりましたが、多結晶シリコンの販売数量の減少及び販売価格の下落、ならびに塩化ビニルモノマーのプラントトラブルに伴う販売数量の減少等により、前年同期より219億5千万円減少し、1,890億5千万円（前年同期比10.4%減）となりました。

**(売上原価)**

塩化ビニルモノマー及び多結晶シリコンの販売数量の減少等により、前年同期より108億7千万円減少し、1,410億7千万円（前年同期比7.2%減）となりました。

**(販売費及び一般管理費)**

苛性ソーダ等の販売数量の減少に伴う物流費の減少及び前期に稼動した新基幹システムに係る費用の減少等により、前年同期より32億3千万円減少し、452億2千万円（前年同期比6.7%減）となりました。

**(営業利益)**

多結晶シリコンの販売数量の減少、販売価格の下落等により、前年同期より78億4千万円減少し、27億5千万円（前年同期比74.0%減）となりました。

**(営業外損益・経常損益)**

営業外損益は、為替差損は減少しましたが、塩化ビニルモノマープラントの休止部門費の増加等により前年同期より1億円悪化しました。そのため、経常損益は、79億5千万円悪化し、1億円の損失となりました。

**(特別損益・税金等調整前四半期純損益・少数株主損益調整前四半期純損益・四半期純損益)**

特別損益は、株式会社エクセルシャノンの事業再構築費用の発生等により、前年同期より11億円悪化しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純損益は、前年同期より90億5千万円悪化し、16億7千万円の純損失となりました。

法人税等は、当期の業績予想等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当資産76億3千万円の取崩しを行ったことにより、前年同期より58億4千万円増加しました。この結果、少数株主損益調整前四半期純損益は、前年同期より149億円悪化し、106億円の純損失となりました。少数株主損益調整後の四半期純損益は、前年同期より147億4千万円悪化し、108億4千万円の純損失となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	機能部材				
平成25年3月期 第3四半期 連結累計期間	57,562	36,594	52,947	36,766	29,793	213,664	△24,606	189,058
平成24年3月期 第3四半期 連結累計期間	63,656	55,318	50,897	36,643	30,725	237,240	△26,223	211,017
増減率	△9.6%	△33.8%	4.0%	0.3%	△3.0%	△9.9%	—	△10.4%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	機能部材				
平成25年3月期 第3四半期 連結累計期間	△84	△1,863	3,933	1,726	1,871	5,582	△2,824	2,757
平成24年3月期 第3四半期 連結累計期間	1,095	7,576	2,124	1,616	1,300	13,714	△3,110	10,603
増減率	—	—	85.1%	6.8%	43.9%	△59.3%	—	△74.0%

(注) 1 各セグメントの売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

- 2 第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、従来「特殊品」に区分していた製品の一部について、「機能部材」へ報告セグメントの変更を行っております。また、当第3四半期連結会計期間より、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。なお、平成24年3月期第3四半期連結累計期間は、変更後の基準に基づき作成しております。

(化成品セグメント)

塩化ビニルモノマーは、プラントのトラブルで一時的に稼働が停止したことに加え、世界的な景気減速に伴うアジアでの塩化ビニル樹脂市場の低迷による輸出価格下落により、厳しい状況が続きました。

苛性ソーダは、上記の塩化ビニルモノマープラントのトラブルの影響による稼働率の低下及び国内景気減速に伴う需要の低迷により販売数量は減少しましたが、販売価格の是正効果により増益となりました。

塩化ビニル樹脂は、ナフサ価格乱高下の影響を受け、販売価格が弱含みで推移したことにより損益が悪化しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は575億6千万円(前年同期比9.6%減)で減収となり、営業損失は8千万円で減益となりました。

(特殊品セグメント)

多結晶シリコンは、太陽電池関連部材の供給過剰と半導体関連部材の在庫調整を背景に、販売数量が減少し販売価格も下落しました。更に、プラントの稼働調整に伴う固定費率の上昇もあり、大幅な減収減益となりました。

乾式シリカ及び窒化アルミニウム等についても、半導体市場の低迷に伴い厳しい状況が続きました。

電子工業用高純度薬品は、半導体・液晶市場の低迷により損益が悪化しました。

湿式シリカは、原燃料価格の高騰や競合メーカーの新規参入により厳しい事業環境が続いたため、収益改善及び事業継続が困難と判断し、前期に事業から撤退しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は365億9千万円(前年同期比33.8%減)で減収となり、営業損失は18億6千万円で減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、官需・民需ともに堅調で国内販売数量が増加しました。

資源環境事業は、セメント生産量増加に伴い廃棄物受入量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は529億4千万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は39億3千万円（前年同期比85.1%増）で増収増益となりました。

(機能部材セグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、前期に発生したタイ洪水によるサプライチェーンのダメージからの回復が遅れて減収減益となりました。

微多孔質フィルムは、国内及び中国市場の紙おむつ向け需要が好調で増収となりました。

医療診断システムは、新規顧客開拓と既存顧客の更新需要取り込みを行い、更に原価の低減に努めた結果、増収増益となりました。

ポリオレフィンフィルムは、原料価格上昇により減益となりました。

樹脂サッシは、事業再構築を推し進めた結果、損益が改善しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は367億6千万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は17億2千万円（前年同期比6.8%増）で増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,258億7千万円となり、前連結会計年度末に比べて246億8千万円増加しました。

主な要因は、マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設等による有形固定資産の増加によるものです。

負債は2,800億6千万円となり、前連結会計年度末に比べて343億4千万円増加しました。

主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は2,458億円となり、前連結会計年度末に比べて96億5千万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年10月31日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、平成25年2月5日付「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(4) 配当の予想に関する定性的情報

期末配当金の予想につきましては、今後の業績や財務状態を総合的に勘案したうえで決定いたしたく、現時点では未定とさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が141百万円増加しており、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が141百万円それぞれ減少しております。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,662	29,036
受取手形及び売掛金	69,455	60,609
有価証券	25,800	27,610
商品及び製品	21,561	23,297
仕掛品	13,502	15,509
原材料及び貯蔵品	13,328	15,199
繰延税金資産	1,737	619
その他	35,991	25,750
貸倒引当金	△239	△303
流動資産合計	214,799	197,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,568	106,979
減価償却累計額	△65,965	△67,693
建物及び構築物(純額)	40,602	39,286
機械装置及び運搬具	455,958	457,732
減価償却累計額	△388,963	△397,670
機械装置及び運搬具(純額)	66,995	60,061
工具、器具及び備品	22,986	22,838
減価償却累計額	△20,685	△20,930
工具、器具及び備品(純額)	2,301	1,908
土地	34,537	33,478
リース資産	1,330	1,433
減価償却累計額	△549	△607
リース資産(純額)	781	826
建設仮勘定	81,094	140,811
有形固定資産合計	226,313	276,372
無形固定資産		
のれん	215	184
リース資産	31	24
その他	8,258	7,911
無形固定資産合計	8,506	8,120
投資その他の資産		
投資有価証券	25,219	26,655
長期貸付金	3,906	3,972
繰延税金資産	3,385	844
その他	19,503	13,088
投資損失引当金	△21	△21
貸倒引当金	△432	△490
投資その他の資産合計	51,561	44,048
固定資産合計	286,381	328,541
資産合計	501,181	525,871



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,118	37,063
短期借入金	8,474	7,901
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	12,191	9,781
リース債務	286	311
未払法人税等	1,112	549
繰延税金負債	15	1,069
賞与引当金	2,391	1,125
修繕引当金	1,500	1,618
製品保証引当金	126	52
災害損失引当金	6	6
事業再構築引当金	—	129
契約解除損失引当金	—	173
その他	31,549	31,110
流動負債合計	102,773	94,891
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	73,113	115,053
リース債務	601	579
繰延税金負債	255	4,296
退職給付引当金	1,051	953
役員退職慰労引当金	268	206
修繕引当金	3,751	2,635
製品補償損失引当金	2,443	1,431
環境対策引当金	124	120
資産除去債務	4	5
その他	11,331	9,896
固定負債合計	142,947	185,178
負債合計	245,720	280,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,458	53,458
資本剰余金	57,670	57,670
利益剰余金	138,040	126,150
自己株式	△1,416	△1,414
株主資本合計	247,753	235,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,965	4,623
繰延ヘッジ損益	510	1,722
為替換算調整勘定	△2,966	△2,614
その他の包括利益累計額合計	1,509	3,731
少数株主持分	6,198	6,204
純資産合計	255,460	245,801
負債純資産合計	501,181	525,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	211,017	189,058
売上原価	151,945	141,071
売上総利益	59,071	47,986
販売費及び一般管理費		
販売費	27,924	25,765
一般管理費	20,542	19,463
販売費及び一般管理費合計	48,467	45,229
営業利益	10,603	2,757
営業外収益		
受取利息	73	55
受取配当金	485	491
持分法による投資利益	256	354
固定資産賃貸料	189	254
受取補償金	380	—
その他	1,154	894
営業外収益合計	2,540	2,050
営業外費用		
支払利息	1,514	1,729
休止部門費	635	1,589
その他	3,148	1,598
営業外費用合計	5,298	4,917
経常利益又は経常損失(△)	7,845	△109
特別利益		
固定資産売却益	11	687
投資有価証券売却益	—	156
関係会社株式売却益	127	—
違約金収入	124	—
その他	33	—
特別利益合計	297	843
特別損失		
固定資産売却損	68	483
減損損失	125	339
災害による損失	—	2
固定資産処分損	391	355
事業再構築引当金繰入額	—	255
事業再構築費用	—	632
その他	177	341
特別損失合計	762	2,411
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,380	△1,676
法人税等	3,079	8,924
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	4,300	△10,601
少数株主利益	401	241
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,898	△10,842

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	4,300	△10,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,319	663
繰延ヘッジ損益	50	1,212
為替換算調整勘定	△375	304
持分法適用会社に対する持分相当額	△145	44
その他の包括利益合計	△1,790	2,225
四半期包括利益	2,509	△8,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,179	△8,620
少数株主に係る四半期包括利益	330	244

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	機能部材				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	62,939	46,981	50,501	35,299	15,295	211,017	—	211,017
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	717	8,336	395	1,344	15,429	26,223	(26,223)	—
計	63,656	55,318	50,897	36,643	30,725	237,240	(26,223)	211,017
セグメント利益	1,095	7,576	2,124	1,616	1,300	13,714	(3,110)	10,603

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を営んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	機能部材				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	56,841	30,227	52,810	35,338	13,839	189,058	—	189,058
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	721	6,366	136	1,428	15,953	24,606	(24,606)	—
計	57,562	36,594	52,947	36,766	29,793	213,664	(24,606)	189,058
セグメント利益又は 損失(△)	△84	△1,863	3,933	1,726	1,871	5,582	(2,824)	2,757

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を営んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、従来「特殊品」に区分していた製品の一部について、「機能部材」へ報告セグメントの変更を行っております。

また、当第3四半期連結会計期間より、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、変更後の基準により作成した前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)」に記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントにおいて記載すべき重要な事項はありません。なお、報告セグメントに配分されていない減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては339百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき重要な事項はありません。